



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信



上天草総合病院 理念
信頼される地域医療

基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部 (直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547
住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>
Eメール ; kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



上天草地域在宅医療サポート連絡会を開催しました

サポートセンター事務局 地域医療支援課

令和6年度上天草地域在宅医療サポートセンター連絡会を2月4日上天草市役所松島庁舎3階会議室で開催しました。上天草市内の医院、歯科医院の先生方と医療圏である済生会みすみ病院様に参加頂きました。平成30年に在宅医療サポートセンターの指定を受けて第8回目の会議となりましたが、4回目以降、web会議でしたので、顔を合わせての連絡会は4年ぶりとなりました。



主な内容は令和6年度の活動報告と「人生の最終段階にある患者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生」に関する救急隊の標準的活動指針と活動プロトコールについての説明と協議でした。

活動報告については周知活動として包括支援センターと協働して人生会議・サポートセンターの紹介・くまもとメディカルネットワークの紹介を地域の老人会などに行ったこと、活動地域は離島である湯島でも行ったことを報告しました。また天草全域での医療・福祉・介護・行政と連携のための天草在宅医療介護連携推進プロジェクトチーム会議に参加し、天草各地域で嚆下機能の評価・リハビリ・食生活支援ができる体

制作りを目標とした会議を行っていることの報告をしました。

協議では「人生の最終段階にある患者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生」に関する救急隊の標準的活動指針と活動プロトコールについて、天草広域連合北消防署の方より説明を頂き、サポートセンター長の脇田病院長を中心に協議を行いました。今までの救急現場は命を救うための活動であり、心肺蘇生を行う事が基本であったが、今回の指針で、人生の最終段階にある患者について心肺蘇生に関する本人あるいは承諾者の意思表示と医師の指示書等がある場合は、その患者本人の意思にそった救急現場が行えるような取り組みに変わった事について協議をしました。

私たち上天草地域在宅医療サポートセンターは、在宅医療に関しての相談窓口として、専門職の方々や、地域の先生方との連携を強化し、住民の方々の相談を受けられるよう活動をしていきたいと思ひます。

あまぐさの住民、医療・介護関係の皆様へ
地域在宅医療サポートセンターのご案内

地域在宅医療サポートセンターでは、熊本県より指定を受け地域の方が住み慣れた自宅や地域で、安心して生活できるように在宅医療を提供しています。また医療介護関係者が、住民の皆様へ在宅医療サービスを提供できるようにサポートを行います。

- どんな在宅医療サービスでサポートできるか
- 必要な医療・介護サービスはありますか
- 費用はどのくらいか
- 一人暮らし・お一人暮らしでもサポートできます
- お気軽にご相談ください

天草圏地域在宅医療サポートセンター

- 天草圏市医師会立天草地域医療センター
電話0969-24-4111 FAX0969-23-4006
- 上天草市立上天草総合病院
電話0969-62-1122 FAX0969-62-1546
- 天草市立河津病院
電話0969-76-1151 FAX0969-76-1399

上天草地域在宅医療サポートセンターのご案内

上天草圏医師会では、熊本県より指定を受け、県内に在宅医療サポートセンターを設置しました。在宅医療の円滑な推進を図るため、医療・介護・福祉に連携して、いる関係者及び地域の皆さまをサポートする施設としてご案内します。

高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らすことができよう、医療的介護、生活支援サービスを含めた提供する「地域包括ケアシステム」の構築が期待されています。その中でも、高齢者の健康や医療的介護の向上に在宅医療サービスの提供が貢献し、在宅医療・福祉の連携を促進し生活の質を向上させるため、県及び地域の関係機関等が在宅医療サポートセンターに指定されています。

【たとえば】

- ・通院が難しくなった場合、訪問診療をしてくれる医師を探している。
- ・医療的介護の連携(OT・PT・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)が欲しい。
- ・在宅医療のサポートについて知りたい。
- ・継続的な医療的介護を受けたい。
- ・訪問介護の費用が負担に感じている。
- ・訪問介護の費用が負担に感じている。
- ・訪問介護の費用が負担に感じている。

在宅医療・介護が円滑に進むための情報提供やお手伝いをいたします。

開設日時: 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始を除く)
受付時間: 午前9:00～午後4:00
受付場所: 天草圏市役所(電話予約)
電話番号: 0969-62-1122(代)
住所: 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 地域医療支援部 内
上天草地域在宅医療サポートセンター (龍江・大津)

職員旅行へ行ってきました!

2病棟 溝川 豪

1月18日から1月19日の1泊2日の日程で山口県への職員旅行がありました。観光バスを利用して各地を観光しながらゆったりと移動することができました。

1日目はまず、北九州市の門司港レトロで焼きカレーランチを頂きました。熱々の焼きカレーは絶品で、食後は赤煉瓦造りの建物や港の風景を眺めながら散策しました。その後しばらくバスにゆられ山口県へ突入。秋吉台にて広大なカルスト台地を望み、別府厳島神社・弁天池の見学をしました。秋吉台は大昔は海だったとのことで、無数にある石灰岩はプレート運動によって出来たものということを知り歴史を感じながら眺めることができました。弁天池は日本名水百選にも選ばれており透明度の高い水はコバルトブルーに輝いていました。厳島神社での参拝後は宿泊場所である山村別館に到着し温泉に入り夕食を頂きました。夕食がとても豪華で大満足のひとときを過ごすことができました。



2日目はまず、元乃隅神社を参拝しました。崖の近くにある神社で123基の赤い鳥居が100m以上にわたってならぶ姿は圧巻でした。次は角島大橋へと向かいました。角島大橋は全長1780mにもおよび無料で渡れる

一般道としては日本屈指の長さです。晴天ということもあり白い砂浜と青い海がとても素晴らしいコントラストとなっていました。そして最後は唐戸市場にて昼食を頂きました。大きなネタのお寿司や焼き物、汁物を購入し海を眺めながら食べることができました。景色も素晴らしかったですが、ここでは景色より食いが勝り時間いっぱい食べて過ごし、お腹いっぱい幸せな気持ちで帰路につき旅を終えることができました。



今回の職員旅行は数年ぶりの開催となり私自身初めての参加でしたが、素晴らしい景色を見たり、おいしいごはんを食べることでリフレッシュすることができました。また職員の方々の普段とは違った一面が見えたり、共に楽しい時間を過ごすことで絆が深まったように感じます。このような素晴らしい旅行を企画・運営して頂いた皆様、ならびに長旅のなか安全運転で案内して頂いたバスの運転手さんに心から感謝を申し上げます。これからも地域の皆様により良い医療を提供できるよう、時には今回のようにリフレッシュをしながら尽力していきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

研修会・勉強会の行事予定表

3月12日(水)	糖尿病教室 開催は中止します	14:00～ 当院6階講堂
3月21日(金)	がんサロン	13:30～ 当院6階講堂
3月28日(金)	心臓リハビリテーション教室 心疾患患者の日常生活について 塩分・脂質・油について	14:30～ 当院6階講堂

サービス向上のためのアンケートを実施しています

総務課

日頃より、上天草市立上天草総合病院をご利用いただき、誠にありがとうございます。当院では、よりよい医療サービスの提供を目指して、患者さまやそのご家族、地域の皆さまの声を大切にしております。その一環として、今後のサービス向上に向けた貴重なご意見をいただくため、現在ウェブアンケートを実施しております。

本アンケートの目的は、当院をご利用いただいた皆さまから、当院のサービスや施設環境、職員対応に関するご意見を広く伺うことです。皆さまのご意見を真摯に受け止め、今後の医療サービスの向上に反映させるため、肯定的なご意見だけでなく、改善が必要だと感じられる点についても積極的にお聞かせいただきたいと考えています。

今後とも、皆さまにご満足いただける病院づくりに努めてまいりますので、引き続きご協力とご支援を賜

りますようお願い申し上げます。

下記のQRコードより、ご意見をお聞かせください。



卒業に向けて

上天草看護専門学校 46期生 西田 伊吹 千賀 翔太

看護学校には、「実習がきつい」「国試合格できなかったらどうしよう」と不安な気持ちをもって入学しました。実習は1クール2・3週間という限られた時間の中で、学習や実習記録の記載をして日々振り返りを行い、今患者さんが何を必要としているのか考えていきました。また、自分のいいように発言するのではなく周囲のメンバーの事を考えて行動することで、良好な人間関係ができると分かりました。実習中にインシデント・アクシデントを起こしたり、嫌な経験をしたときに気分が落ち込むときもありました。その度に友人や後輩、先生などに助けてもらったり、実習が終了して、患者さんとお別れするときに「もっといてほしかった」と患者さんの発言に救われ、やりがいを感じることがもありました。

国家試験では、これまで一緒に勉強してきた友人、

忙しい中わからないところを教えてくれた先生、つらい時も支えてくれた家族にいい結果を報告できるように頑張ります。

看護学校での経験を通して、看護師という仕事がかんなんにも自分自身を見つめ直し、自分の傾向を知る必要があることを知りました。自分をよく知ること人間として少し成長できたのではないかと思います。卒業に向けて考えたことは、患者さんを安心・安全に看護していくこと、周囲の同僚や先輩などを支えていけるような看護師になるために職場で経験を重ねて技術や知識を身につけていきたいです。



編集後記

○早くも年度末となりました。今号は、先日4年ぶりにオンラインでなく上天草市役所松島庁舎で開催された「上天草地域在宅医療サポート連絡会」の会議内容の報告をして頂きました。また数年ぶりに履行できた、院内旅行は、山口県まで足を延ばし、温泉を堪能し、味覚も大満足でリフレッシュされた様子を寄稿して頂きました。看護学校からは、卒業に向けて、病院実習の感想なども書いて頂きました。病棟を回ってみていると、ベッドのそばや談話室で、症状はもちろんの事、世間話でも聞き上手で会話に繋げている方々を見かけ、卒業後も頼もしく期待しています。異動などの時期にあたり、多忙と思いますが、来年度もよろしく願いいたします。（細川）

3月 診療案内

※は、応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 小林 博 浦川 ゆめ子	和田 正文 林田 夏南子 浦川 ゆめ子	※岸川 秀樹 浦川 ゆめ子	和田 正文 細川 貴規 小林 博 浦川 ゆめ子 ※高柳 宏史	細川 貴規 林田 夏南子 浦川 ゆめ子 (第2・4) ※松田 圭史 (第1・3・5)	
代謝内科	※阪口 雅司	—	—	—	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
腎臓内科	—	—	細川 貴規	—	—	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	小林 博	※山本 正啓	脇田 富雄	
外科	—	—	—	—	—	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	
婦人科(午前/午後)	坂口 優子/ オンライン診療	休診/ オンライン診療	坂口 優子/ 休診	—	—	
※外来診療時間は9時から13時30分となります。(受付時間は8時30分～13時まで) ※オンライン診療は、再診の方のみ予約診療となります。						
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一	藤松 晃一	※鮎田 貴也	
※毎週火曜日・金曜日の診療開始は10時50分からとなります。						
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	
眼科	—	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※毎週月曜日の診療は休診となります。						
皮膚科	—	—	—	※宮下 梓	—	
泌尿器科	—	西 一彦	—	—	西 一彦	
※毎週金曜日の診療は完全予約制となります。						
超音波・ 内視鏡センター	石山 哲	石山 哲	※大野 健翔	林田 夏南子	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	3/7(金) 3/17(月)の 午後 3/18(火)
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 (午後)	小林 博	—	応援	応援	林田 夏南子	
御所浦診療所 (午前)	竹下 哲二	—	—	—	—	
栖本病院 (午前)	—	—	林田 夏南子	—	—	

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。